

データ作成の手順 (PowerPoint用)

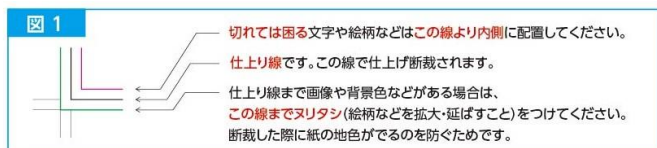
【予めご了承ください】

PowerPointで作成したデータで印刷する場合は、色味が沈んだ仕上がりになります。
(画面上で見ている色味とは違った仕上がりになります)

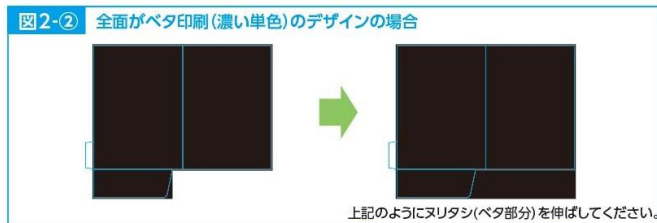
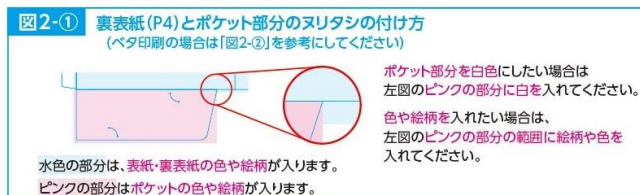
1.画像や文字、図形を入れてデザイン制作

★弊社指定のテンプレートを使用してください

≪デザイン制作の際の注意点≫



※【図1】について



仕上がり線(黒線)まで絵柄がある場合は、緑の線まで絵柄を伸ばす

切れては困る文字や絵柄などはピンク色の枠線内に配置

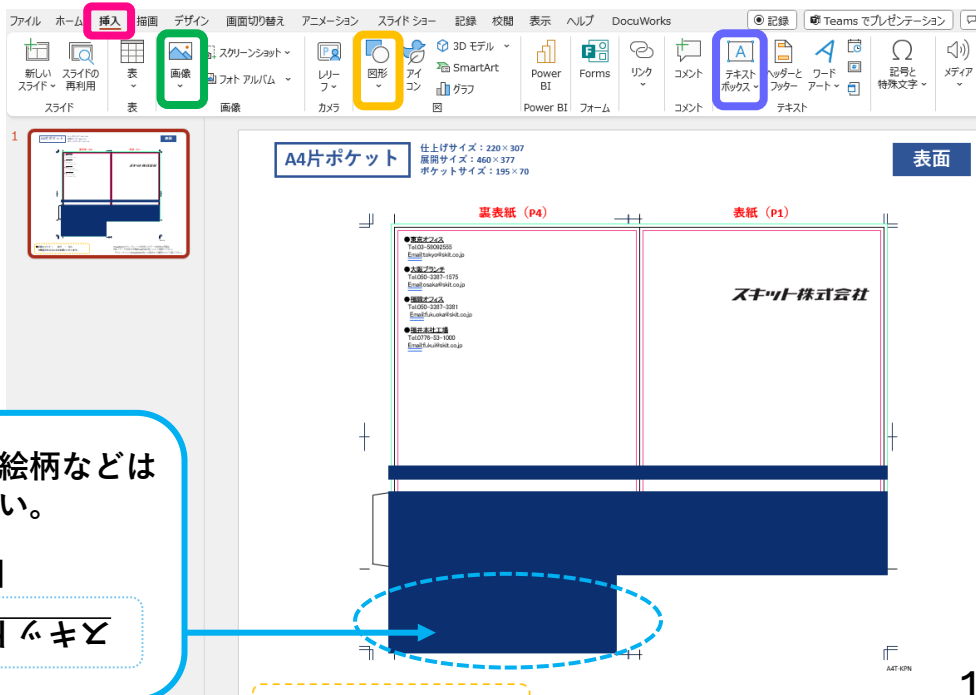
≪デザイン制作作業≫

● 「挿入」を選択

※● 画像...画像を入れる

● 図形...図形を入れる

● テキストボックス...文字を入れる



ポケット部分の文字や絵柄などは上下反転させてください。

【誤】

スキット

→

【正】

スキット

【デザイン作成終了後、次に進む前に下記の点ご確認ください】

☐ ぬりたしがついているか

（仕上がり線（黒線）まで絵柄がある場合に緑の線まで絵柄を伸ばしているか）

☐ 切れては困る文字や絵柄をピンク色の枠線内に収めているか

※弊社では誤字・脱字や画質、

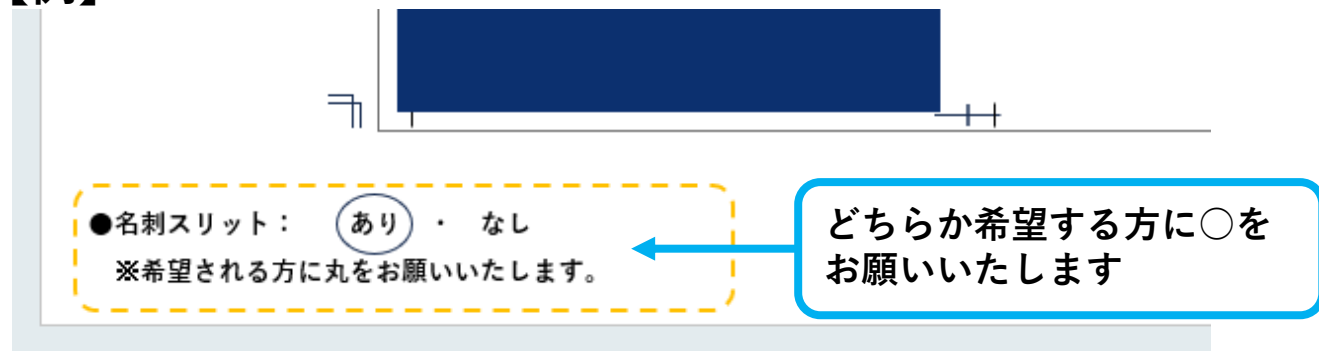
その他デザイン・レイアウトに関する検証は承っておりません。
ぬりたしなどの確認と一緒に一度ご確認をお願いいたします。

2. 名刺スリットの有無の選択

デザインが出来ましたら、表面用のテンプレート左下より
名刺スリットの有無の選択をしてください。

※名刺スリット…ポケット部分に入る、名刺を差し込むための切れ込み
（名刺スリットのありなしの選択では料金は変わりません）

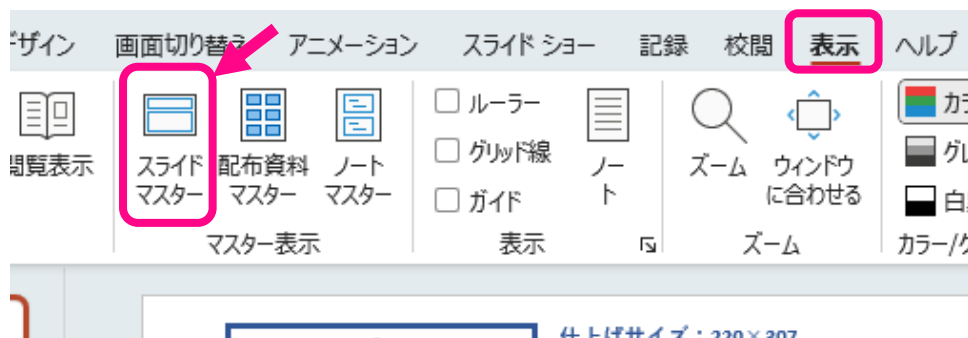
【例】



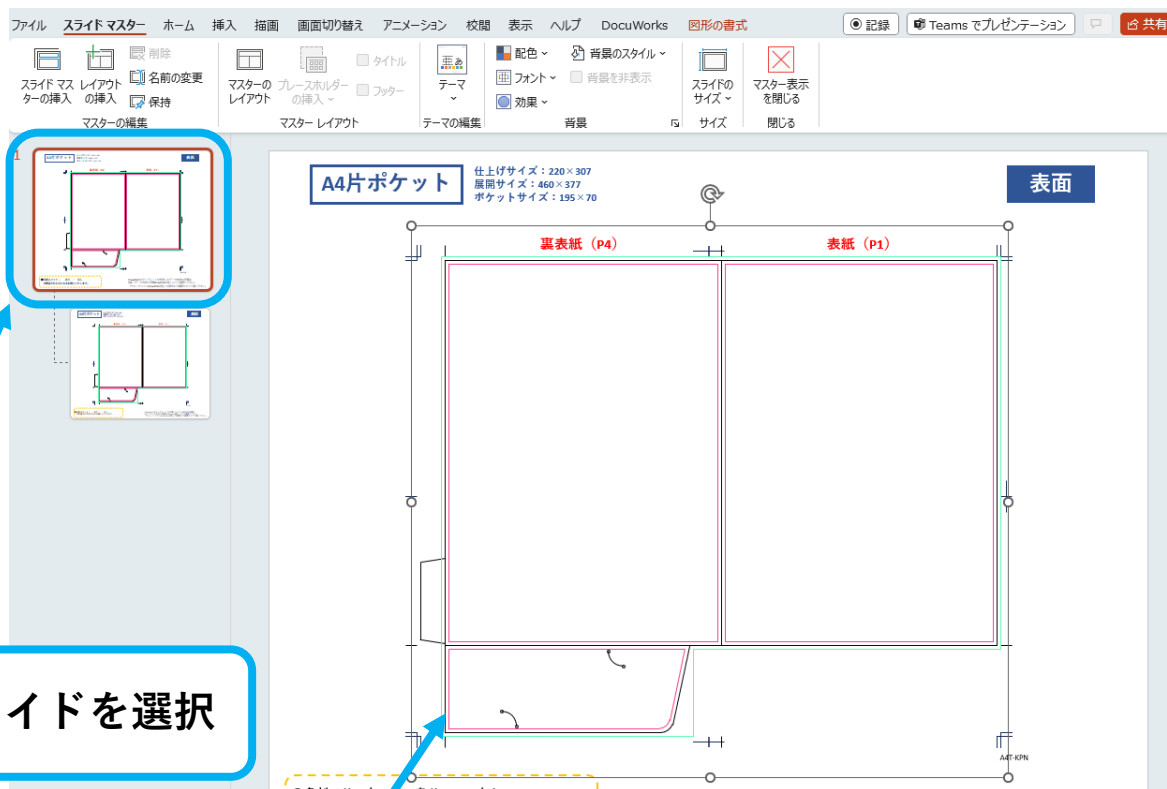
3. フォルダ枠線の削除

デザインの完成、名刺スリットの選択まで完了しましたら
フォルダの枠線を削除してください。

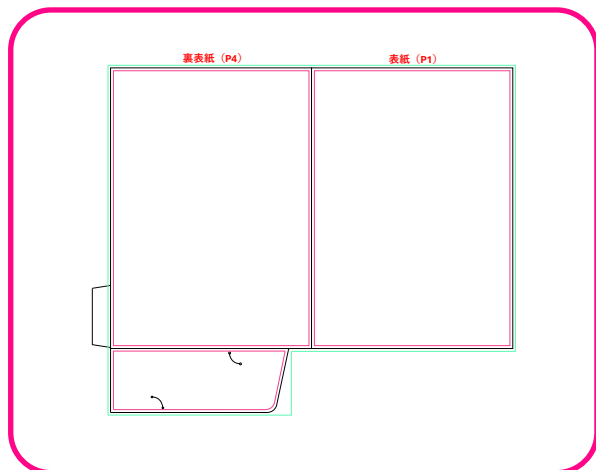
① 「表示」 → 「スライドマスター」 を選択



②スライドマスター画面から、フォルダ枠線の削除

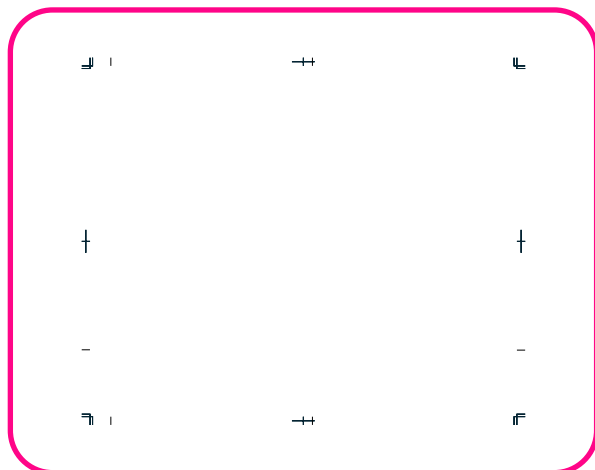


フォルダ枠線



削除してください

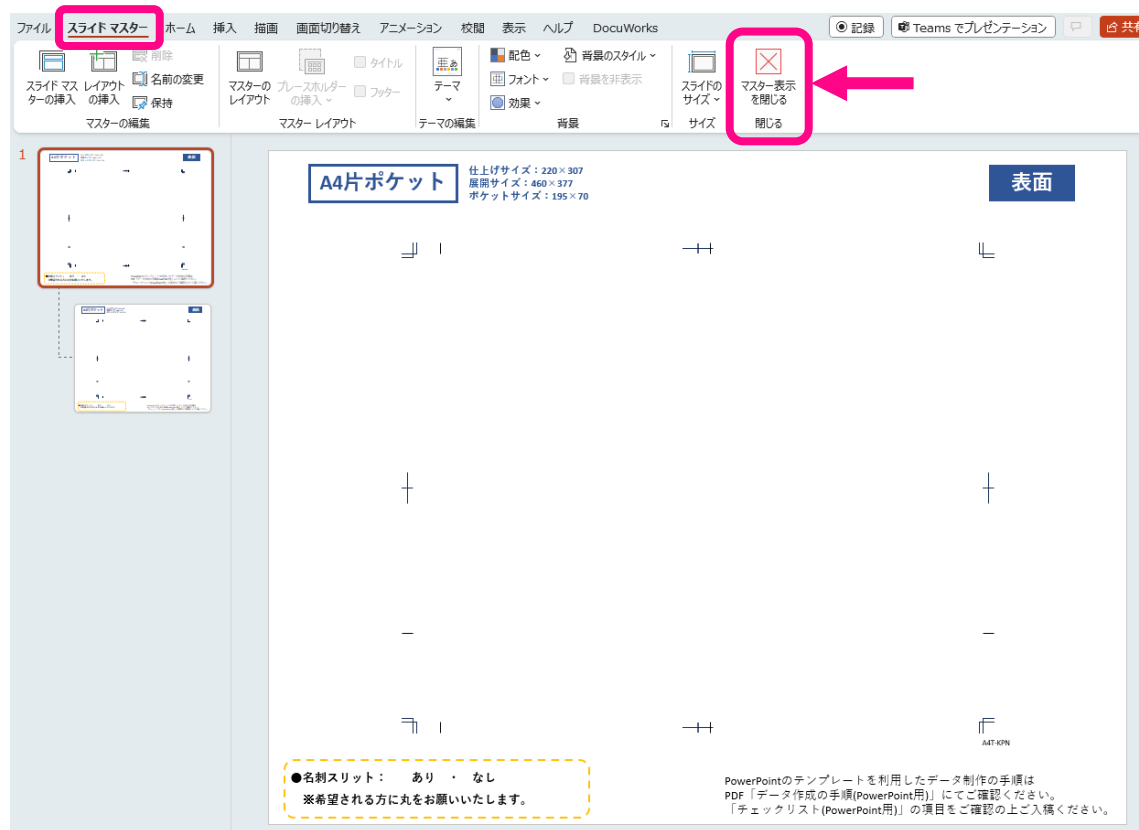
トンボ線



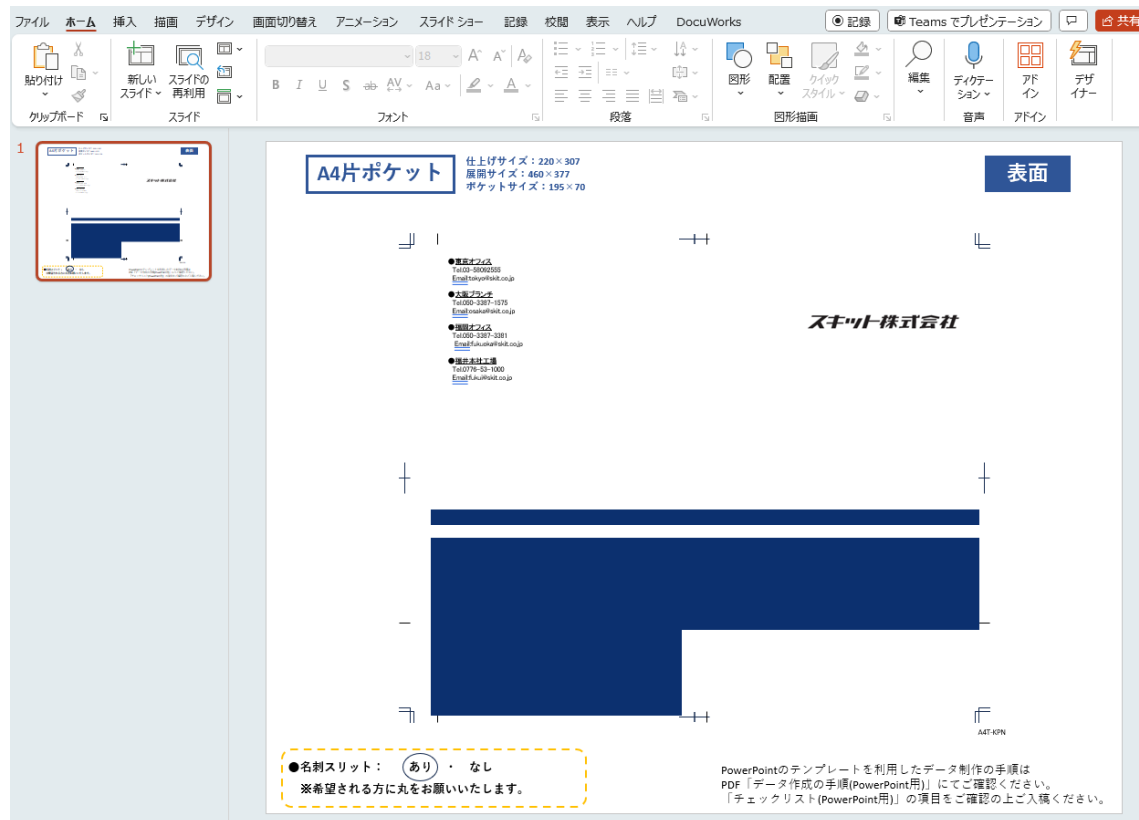
消さずに残してください

③ フォルダ枠線を削除したら 「スライドマスター表示を閉じる」を選択

[フォルダ枠線を削除した後のスライドマスター画面]



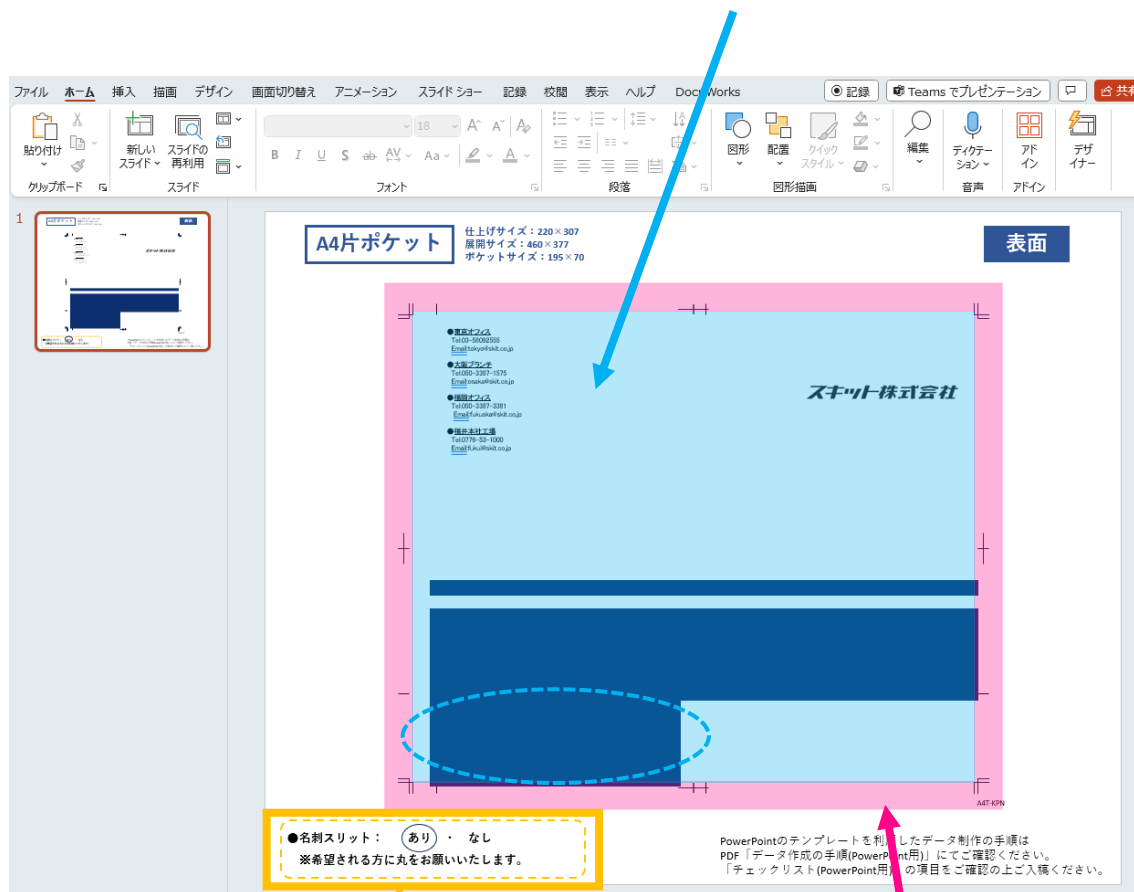
[スライドマスターを閉じた時の画面]



《下記の点を今一度ご確認ください》

作成した絵柄が入っている

※ポケット部分（点線部分）の絵柄は反転している（1P参照）



名刺スリットの選択がされている（2P参照）

フォルダ枠線のみが消えていて、
トンボ線は残っている（3P参照）

最終のご確認が完了しましたらデータは完成です。

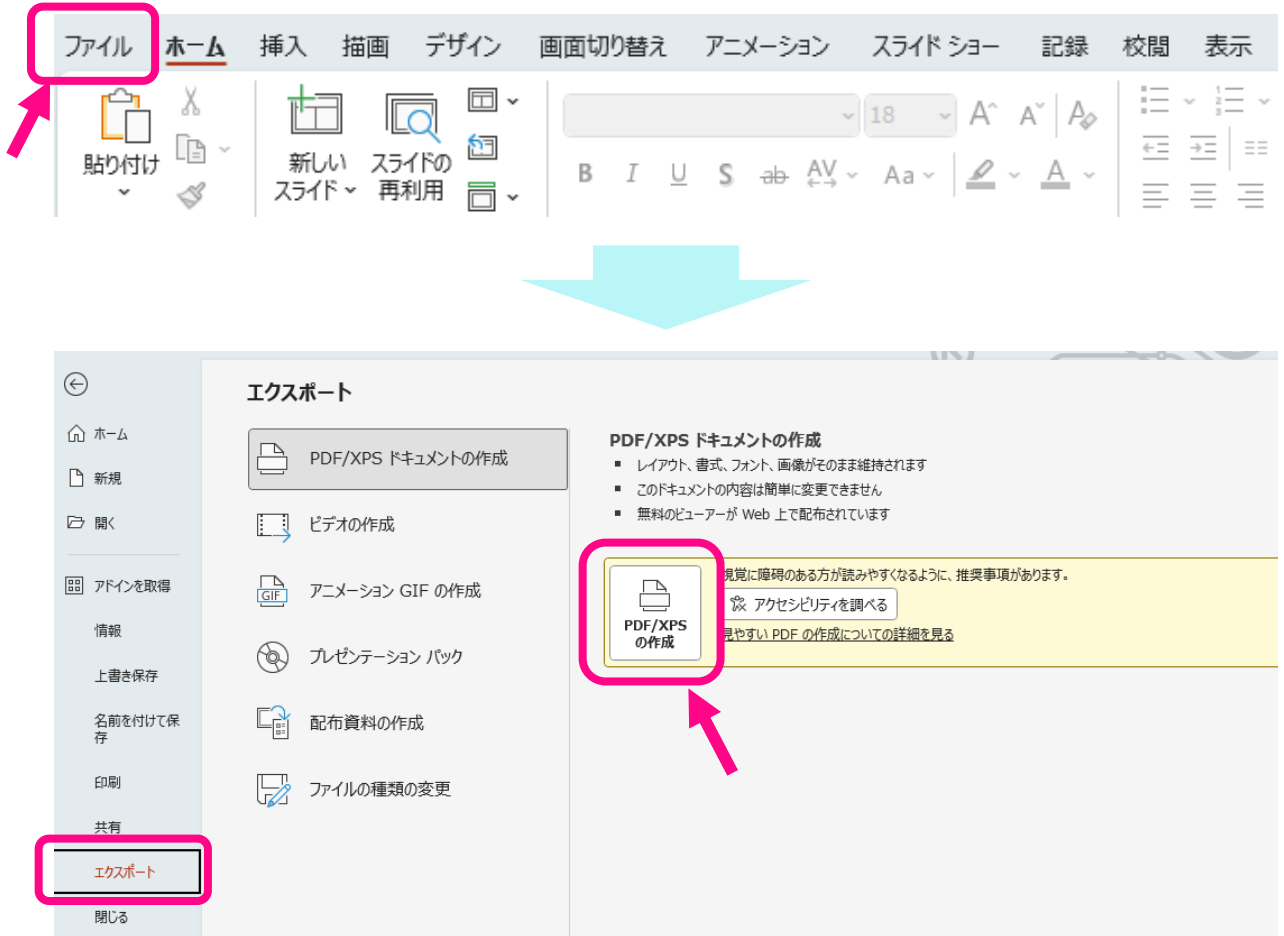
PDFに変換してご入稿ください。

※PDFへ変換する方法は次のページをご確認ください。

※ご入稿前にチェックリストをご確認いただき、
下の枠内にサインいただいたものを、
PDF変換したご入稿データと一緒に送付ください。

4.PDFへ変換する

- ①画面左上「ファイル」から
「エクスポート」→「PDF/XPSの作成」を選択



- ②ファイルの種類は「PDF」、
最適化：「標準（オンライン発行および印刷）」を選択
→「発行」



※任意のフォルダにPDFを保存してください